



平成 19 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社 大 田 花 き  
代表者の役職名 代表執行役社長 磯村 信夫  
( J A S D A Q コード番号 7 5 5 5 )  
問い合わせ先 執行役社長室長 尾田 仁志  
TEL 0 3 - 3 7 9 9 - 5 5 7 1

## 剰余金の配当（増額）に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 5 月 18 日開催の取締役会において、下記の通り平成 19 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当案を決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 配当の内容

|                 | 決定額              | 直近の配当予想<br>(平成 18 年 11 月 15 日公表) | 前期実績<br>(平成 18 年 3 月期) |
|-----------------|------------------|----------------------------------|------------------------|
| 基準日             | 平成 19 年 3 月 31 日 | 同左                               | 平成 18 年 3 月 31 日       |
| 1 株当たり期末<br>配当金 | 12 円 00 銭        | 10 円 00 銭                        | 10 円 00 銭              |
| 配当金の総額          | 65,990 千円        | -                                | 54,992 千円              |
| 効力発生日           | 平成 19 年 6 月 25 日 | -                                | 平成 18 年 6 月 26 日       |
| 配当原資            | 利益剰余金            | -                                | 利益剰余金                  |

#### 2. 理由

当事業年度の業績は、本日、決算短信（非連結）で発表させていただきましたとおり、増収減益であります。内容としましては、取扱高は堅調であり、新たな収益基盤の確立のため、試験的な投資等で発生経費が増加しているためです。

今後も株主価値を重視した経営を行い、株主の皆様が長期的かつ安定して保有をしていただくために、安定した配当を継続的に行っていきたいと考えております。

そのためにも今まで以上に収益状況や今後の見通し、配当性向、キャッシュ・フローを勘案し、適切な配当を実施してまいります。当事業年度は、1 株当たり期末配当金を 10 円から 2 円増配し、12 円とすることを決定しました。

今回の発表内容につきましては、当事業年度計算書類に係わる法定の監査を経て、平成 19 年 6 月 4 日開催予定の取締役会にて正式に決定する予定であります。なお、当社は、剰余金の配当等につきまして会社法に定める事項について、法令に別段の定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議による旨定款に定めております。

以 上